

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	町田市立山崎保育園
施設所在地	東京都町田市山崎町 1 - 2 - 1 4
法人名	町田市

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・身体のおくみに興味を持って、身体を動かす
- ・音を使った表現を楽しむ

<テーマの設定理由>

- (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
- ・園庭が広く周囲などでからだを動かして遊ぶ機会が多く、子どもたちも積極的に運動遊びへ取り組む様子が見られていた。
 - ・毎日、音楽に合わせて体を動かしたり、歌を歌ったり、音に親しむ様子があった。

2. 活動スケジュール

6月～8月 各クラスで運動遊びや楽器遊びを楽しむ。
9月～3月 異年齢交流日を乳児、幼児それぞれ月1回設定し、運動遊びや楽器遊びに取り組む。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
- ・可動式大型室内アスレチック遊具を購入し、適宜設定した。
 - ・うんていを園庭に設置。
 - ・スネアドラム、ミニキーボード、グロッケン、シンバルなど多様な楽器を準備。
 - ・オーディオ機器の購入。
 - ・民間ボランティア団体へ依頼し、演奏会を開催する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・遊戯室や保育室に飛び石、平均台、丸太、トンネルなどのアスレチック遊具を設置。アイディアを出し合い、設置の仕方を自分たちで変えながら、様々な身体の使い方を探究した。
- ・多種類の楽器を自由に鳴らしたり、音楽に合わせてリズムを取って奏でたりする中で、力加減で音色が変わることなどを音の違いを探究した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・年長児は難易度の高い設定に変更しようと、子ども同士で話しながら組んでいた。また年少児がいる時は高さを変えて、低年齢児でも取り組めるよう工夫をしていた。
- ・楽器遊びでは、最初は勢いよく叩いていたが、保育者が指で優しく鳴らす様子を見せると、それを真似し、最初と違う音が出ることに気づいて喜ぶ様子が見られた。また、友だちの音と自分の音の重なりを聞いて、さらにいろいろな音を出して楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたちの好奇心、探求心の高さと、それらを十分に発揮できるような環境設定の大切さを改めて感じた。
- ・子どもたちの興味関心や気づきについて、それぞれの職員が気づいたことを共有する機会を多くもつようになった。